

努力のプロセス等の活動報告書

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、競技会やイベント・資格検定試験などで中止もしくは延期等となっているものも少なくありません。そのような状況の中で、出願者ご自身の「目標」に向けたこれまでの「取り組み」や「努力とそのプロセス」を面接の中で評価していくための資料として、この「活動報告書」を使用します。

記入上の注意

- ・高等学校等在学中などに目指していた事柄がある場合は、主な活動を1つを選び以下の各欄に記入してください。
- ・該当する事柄が無い場合でも氏名等を記入し、下欄1の「該当なし」欄に○を記入してください。
- ※ 目標とする検定等や大会などが中止・延期となった場合でも、それに向けて既に所有している関連の資格・成果などがある場合は、そのコピーを添付してください。
- ※ 記入にあたっては、油性黒のボールペンで記入（消せるボールペンは不可）。

氏名等	ふりがな	性別 (○を付す) 男・女	(記入不要 ※大学使用欄)
	氏名		

1. 目標として取り組んでいた事項（文化・学術活動、スポーツ活動、生徒会活動、地域社会活動等）

※ 競技会・大会、コンクール、資格・検定試験、ボランティア活動ほか

該当なし	■ 目標としている事項 (記入例1) 英検2級合格を目指している(英検準2級□年○月△日の検定合格)。 (記入例2) 地方大会を勝ち抜き、第102回全国高校野球選手権大会へ出場	■ 実施・開催の状況 ○月△日に受験予定が中止 地方大会も中止となった。

2. 上記1の目標達成(もしくは成果獲得)に向けて計画・努力してきた取り組み (時系列で整理し端的に記載すること)

3. 上記2に記載の“取り組み”によって、得られたもの

(「客観的なもの(成果)」であつてもよいし、「主観的なもの(自身の成長など)」でもよい。)

4. 上記3で、得られたもの(こと)から、今後の自身の成長や大学での勉学に見込まれる影響や効果